

# 三原市の現状

## 人口減少

R2/8月 92500人 → R6/12月 87100人  
約4年間で5%の減少  
(県平均の2倍の減少速度)  
※人口減少が直線的に減少しています

## 出生数の大幅低下

H15 769人 → R5 387人  
10年で赤ちゃん数は半減  
※小中学校の統廃合が加速していきます！

## 経済の低迷

- 駅前歩行者数はコロナ禍より約10%減少  
R2 21600人/日 → R5 19600人/日 (平日)
  - 観光消費額はピーク時から半減  
H29 101億円/年 → R4 46億円/年
  - 観光客数はピーク時から4割減少  
H29 450万人/年 → R4 285万人/年
- ※中心市街地は、衰退が加速しています



## 学力定着レベル毎年低下

小学校 H30 106 → R5 102  
中学校 H30 101 → R5 98  
(市平均/全国平均×100)  
※毎年全国対比学力レベルが低下しています



## 市民に寄り添わない市政

- 本郷産廃処分場の後ろ向きな対応
  - 離島佐木島航路運賃助成の廃止
  - 無策の中山間地域買い物難民対応 等
- ※市民の本当の困りごとに対する具体策ができません



このままでは 三原は沈没する!?

三原の将来を見据えた政策と投資が必要です  
貯金を貯め込むだけの市政では、私達の三原は良くなりません



# 田中ひろき 後援会だより

2025年(令和7年)春号  
No.24

**三原のために市議に挑戦します!**

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、三原市の将来を憂い市長選に挑戦しましたが、残念ながら力及ばずの結果で、自らがトップにたち改革を進めることができませんでした。

今の三原市は、残念ながら人口減少が進むと同時に活力がなくなり衰退の一途をたどっています。本市の現状を数値で見えていただくと分かります。主な数値指標を裏面に示しましたのでご覧ください。

市民の皆様は、現在の三原の状況がどうなっており、今のままではこれからどうなっていくのかを考えていただきたいと思います。

## <三原市の財政状況>

現在の三原市の財政状況は決して悪くはありません。県内でも中位の財政状況で、問題はありません。

しかし、将来に向けた発展的投資はほとんどなされず、**貯金の積み立てや、借金(地方債等)の返済等に当てら**れています。

右グラフは、財源不足時に活用する目的の基金「財政調整基金残高」を示したのですが、現在の市長体制に変わってから残高が上昇しています。本市の目標残高 50 億円に対し**約 20 億円もプラス**で貯まっています。

これは、今の市政が**大変内向きな運営**になっていることを示しており、**将来の構想がなく投資がされていない**ことを示しています。市議会議員の時に、強く感じていました。

これでは、三原の将来が大変不安です。私は、将来の三原を考え、課題解決に向けて提言を全力で行っていきます!



### 田中ひろき後援会

田中裕規  
◇ プロフィール  
- 1959年8月9日生  
- 東京農工大学工学部大学院修了  
- 三原市議会議員 2期 7年  
- 元帝人(株)社員

<連絡先>  
三原市港町三丁目 16 番 13 号  
携帯: 090-7137-0440  
Eメール: h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp  
<https://www.tanakahiroki.info/>  
<発行責任者> 武郷康則

(ホームページ)

